

國風盆栽展に行ってきました。

新井 由美子 (高校 26 期)

師匠が同級生というよしみで始めた盆栽クラブ。同じ高校の老若男女がワイワイ楽しく盆栽を楽しんでいる部活動です。今回初めて「國風展」鑑賞に参加させていただきました。イメージをはるかに超えて雄大ですらある黒松、五葉松、真柏、かえで、もみじ等々。どのように逆立ちしても、自分の作品と同じ種類の物とは思えない幹の太さに、姿かたちには圧倒されました。

特に驚いたのは、かえで、もみじ類。今の季節葉が一枚もなく枝のみの展示だったのです。枝ぶりや根の張り具合で「國風賞」を取られたものもありました。下から見上げた景色がまさに大木のイメージ。盆栽の楽しみ方は、横から見るだけではないことが分かった展示でありました。



かえでの後ろの壁に映る枝えだの影、どこかで見た覚えが・・・それは着物の展示会で見た裾から肩にかけて染められた素敵な訪問着の柄だったのです。作家の先生はきっとこういう盆栽の影からヒントを得たのではないかしらと思いが巡りました。

今年目標はジン舎利といって真柏の幹の表皮を剥いで白い木肌をさらす技法を試すことです。会場のあちこちで目にしたジン舎利に背中を押された気がしました。

鑑賞後、隣接する立春盆栽大市ショップで念願の剪定鋏を手に入れた途端、何だか早く枝を切り落としたい衝動にかられました。つぎの盆クラが楽しみです。

